

### 3 委員会による検証等の概要

#### (1) 委員会の役割

県所管部局が行った公社等経営評価の妥当性について、第三者の視点から客観性を担保するとともに、専門的立場からの意見等を参考とするため、民間有識者等で組織する委員会により検証等を行うものである。

#### 【青森県公社等経営評価委員会委員名簿】

区分	氏名	役職
学識経験者	井上 隆	青森大学総合経営学部 教授 (委員長)
企業経営者	欠畑 茂治	株式会社スーパーカケモ 代表取締役社長
	世永 星	有限会社木村測量 代表取締役
会計専門家	千葉 瑞子	千葉瑞子税理士事務所 税理士
	松本 博子	松本博子税理士事務所 税理士

#### (2) 委員会の活動実績

##### ① 書面審査

県所管部局から提出された全22法人の経営評価書の総合評価案の妥当性について、各委員が経営評価書及び中期経営計画書（平成30年度目標に対する実績等）に基づく書面審査を実施。

※ 中期経営計画書は各所管課の公社等ホームページに掲載。

##### ② 第1回委員会（令和元年9月9日開催）

###### ● 議事

- ・ 公社等経営評価の検証等
- ・ ヒアリング対象法人の選定

###### ● 概要

各委員が行った書面審査結果を基に、経営評価書の総合評価案の妥当性及び改善事項等について議論を行い、委員会として検証等を行った。また、詳細な検証が必要な法人については、ヒアリング対象に選定した。

###### ● 議決

- ・ 経営上の課題が認められ、改善への対応が短期的又は緊急的に求められる下記4法人について、これまで指摘されてきた改善事項に対する取組状況等を確認するなど、ヒアリングが必要と判断された。
  - (公社) 青森県観光連盟、むつ湾フェリー株式会社
  - (公社) 青森県栽培漁業振興協会、(公財) 青森県育英奨学会
- ・ 残り18法人については、総合評価案が妥当と判断され、委員会から意見等が出された。

● 結果通知

これらの検証等結果については、経営評価書の記載内容や所管する公社等に対する指導助言の参考としてもらうよう、委員会から県所管部局へ通知した。

● 委員会からの主な意見等

**（公財）21 あおもり産業総合支援センター**

本県の産業支援では、中期経営計画書における目標1「中小企業者等への総合的支援」、目標2「販路開拓・取引拡大支援」の2点が優先目標と考える。目標2に関する取組を一層強化して頂きたい。

**（公社）あおもり農林業支援センター**

中期経営計画書における目標4「青年農業者等育成センター事業」について、本県農業の潜在的成長可能性に比べると、新規就農者発掘がやや弱い。他産業との競合もあろうが、農業に関心を示す若年者は少なくないため、今ある支援制度以外の仕組みの導入も検討すべきではないか。

**青森県土地開発公社**

中核工業団地造成事業について企業誘致活動を行っている県・青森市との連携強化や、用地の維持管理を適正に行い、長期借入金の償還を図るとともに、引き続き本県の社会資本整備への貢献に期待する。

**青森県道路公社**

引続き、計画的な維持・修繕工事を実施し有料道路の適切な維持管理に努め、法人設立の目的の理念に沿った健全な経営、及び安定的な黒字確保の継続を期待する。

**（公財）青森県フェリー埠頭公社**

本県のフェリー埠頭は、非常時（大規模自然災害発生時等）にも、広域的に極めて重要な役割を果たしているため、日頃からBCPの再点検や訓練に努めて頂きたい。

**（公財）青森学術文化振興財団**

近年、経済状況が流動的であることから、資産運用にあたっては慎重かつ適切な対応を取って頂きたい。

**八戸臨海鉄道（株）**

貨物輸送量は今後も変動が予想されることから、経費の節減と兼業収入確保に努めて頂きたい。

**青い森鉄道（株）**

平成30年度の諸指標をみる限り、営業努力が一定の成果を上げていると認められる。今後も、収入確保と経営効率化に努め、更なる収支改善に努めて頂きたい。

**(公財) 青森県生活衛生営業指導センター**

中期経営計画における具体的目標のうち、特に、目標1「生活衛生指導事業」、目標3「調査・研修事業」、目標5「生活衛生関係営業振興事業」などで顕著な成果が認められるため、所管部局の総合評価(案)は妥当である。

**(株) 建築住宅センター**

民営化後を見据え、経営基盤の更なる強化と経営効率化に邁進して頂きたい。

**③ 第2回委員会(令和元年11月15日開催)**

● 議事

公社等経営評価の検証等に係るヒアリング

● 概要

第1回委員会で選定した4法人に対するヒアリングにより、改善事項に対する取組状況、関係団体との連携状況、今後の課題及び対応方針等を確認し、経営評価書の総合評価案の妥当性について検証を行うとともに、委員会から経営改善に向けた意見等が出された。

● 議決

4法人については、総合評価案が妥当と判断された。

● 結果通知

これらの検証等結果については、経営評価書の記載内容や所管する公社等に対する指導助言の参考としてもらうよう、委員会から県所管部局へ通知した。

● 委員会からの主な意見等

**(公社) 青森県観光連盟**

- ・ 2020年の東京オリンピックに向けて、青森県への誘客を図る取組を期待する。
- ・ 財政基盤に比べて過剰投資した部分については撤退するなど業務整理を行い、単年度収支での黒字化に向かっていただきたい。
- ・ 今後の県からの派遣職員の減少を見据え、人件費総額を増やさずに、職員一人一人の能力を上げて、今実施している事業を少ない人数でできるような体制を作っていく必要がある。

**むつ湾フェリー(株)**

- ・ 5月から6月のイルカが出る時期は絶対的な強みだが、イルカが出ない時期であっても、フェリーに乗って面白いと思えるような売りを作って情報発信していただきたい。
- ・ 経営目標にある「新たな需要開拓」や「津軽・下北半島の交流促進」も一法人の努力では限界があるため、津軽・下北半島の市町村も連携して観光振興を行う動きを作っていく必要がある。
- ・ 半島のルート上の観光施設が連携して、次の観光施設の情報を発信したり、共通

割引券を作るなど、地域全体としてつながりながら観光客を呼び込む仕組み作りをお願いしたい。

**(公社) 青森県栽培漁業振興協会**

- 金融資産の大部分を特定の資産（外国債券）に集中させているが、金融資産は通常、いろんな形（定期預金、国債、株券等）で分散して保有し、リスクを減らすのが一般的である。
- 金融資産の大部分を占める外国債券が満期を迎え、安全な資産に移行するまでのリスク管理の方法や損失が発生した場合の対応について、事業計画等に記載するなど表に出していくことが必要である。
- 単年度収支で必ず黒字化していなくても、数年に渡って赤字幅が縮小し、改善に向かっている上向きのベクトルを示していただければ、評価区分を見直す契機となるのではないか。

**(公財) 青森県育英奨学会**

- 退寮者へのアンケートでは寮自体の評判が悪いわけではないため、交通の便や建物の中身についてきめ細かく紹介するパンフレットを作って配るなどさらにPRを行えば、入寮者が増加する可能性もあると思われる。
- 今のところ入寮率が50%台とかなり低い状況にあるため、今まで以上に入寮者を増やす努力を重ねていただきたい。